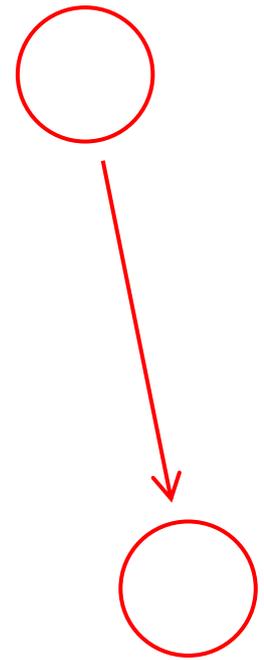


①

発達する低気圧としない低気圧

2014年11月28日9時

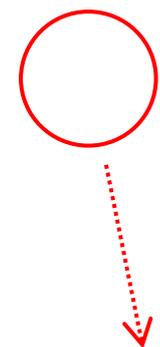


2014年11月29日9時

24時間

2014年11月30日9時

24時間



2014年12月1日9時

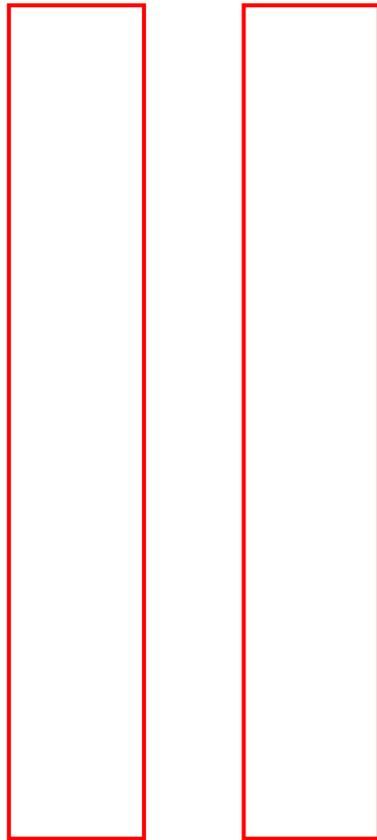
24時間



(気象庁のウェブページより入手)

②

ちなみに11月28日の天気予報では…



(気象庁発表、日本気象協会のウェブページより)

だいたい同じ感じ？

⇒気象通報を聴いて12月1日の地上天気図を描いてみよう

③

②地上天気図を描こう

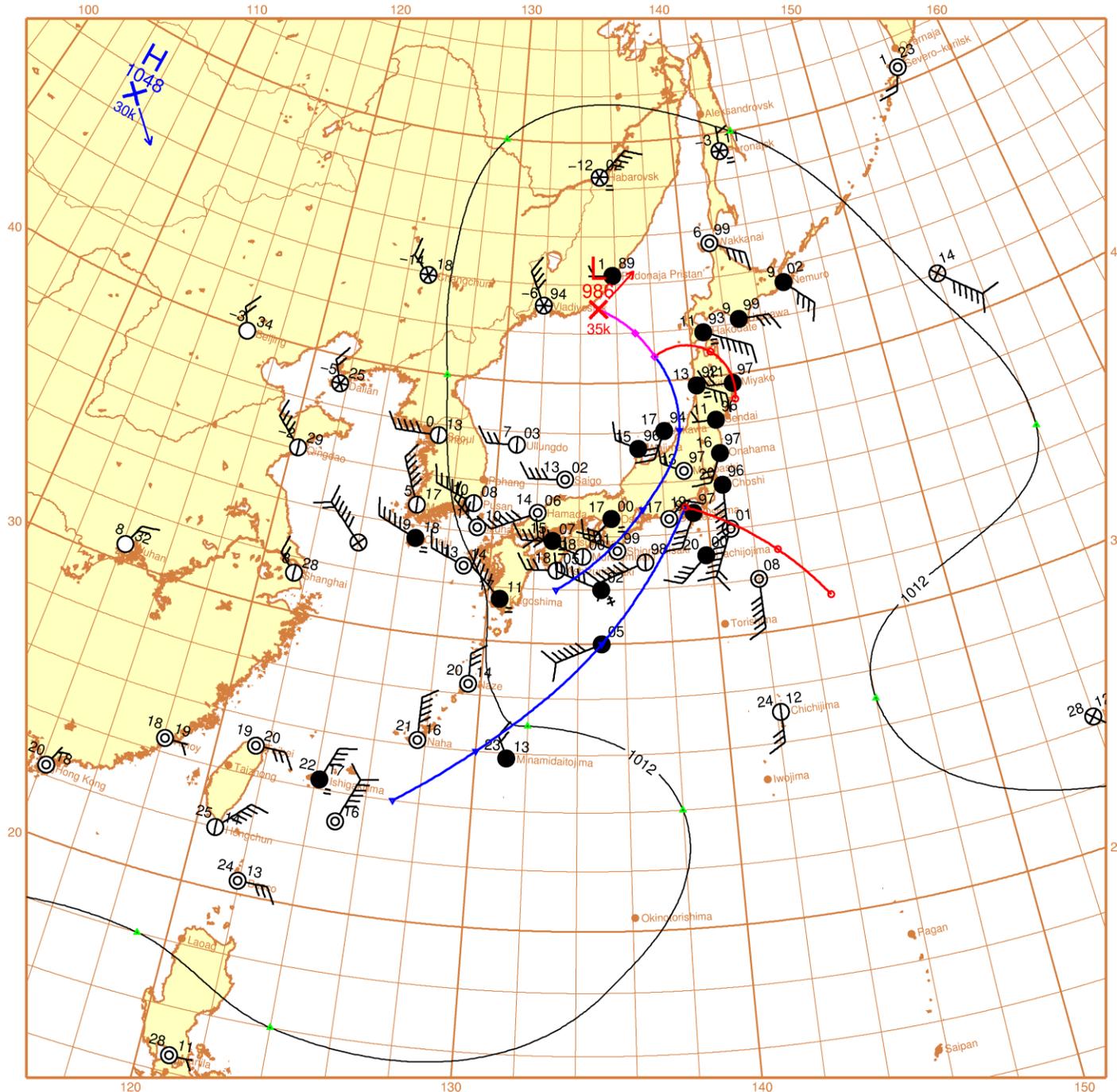
漁業気象通報放送原稿 その1 2014年12月1日正午

2014年12月1日正午その2 終わり=

2014年12月1日正午その1 終わり=

漁業気象通報放送原稿その2 2014年12月1日正午

⑤



Date: Dec. 1, 2014

12月1日

Time: 12:00 JST

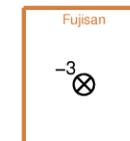
記入済みなので、あとは等圧線を4 hPaごとに引くだけです。

描いたら、①の予想や11月29日の天気図と比較してみましょう。

予想は当たりましたか？

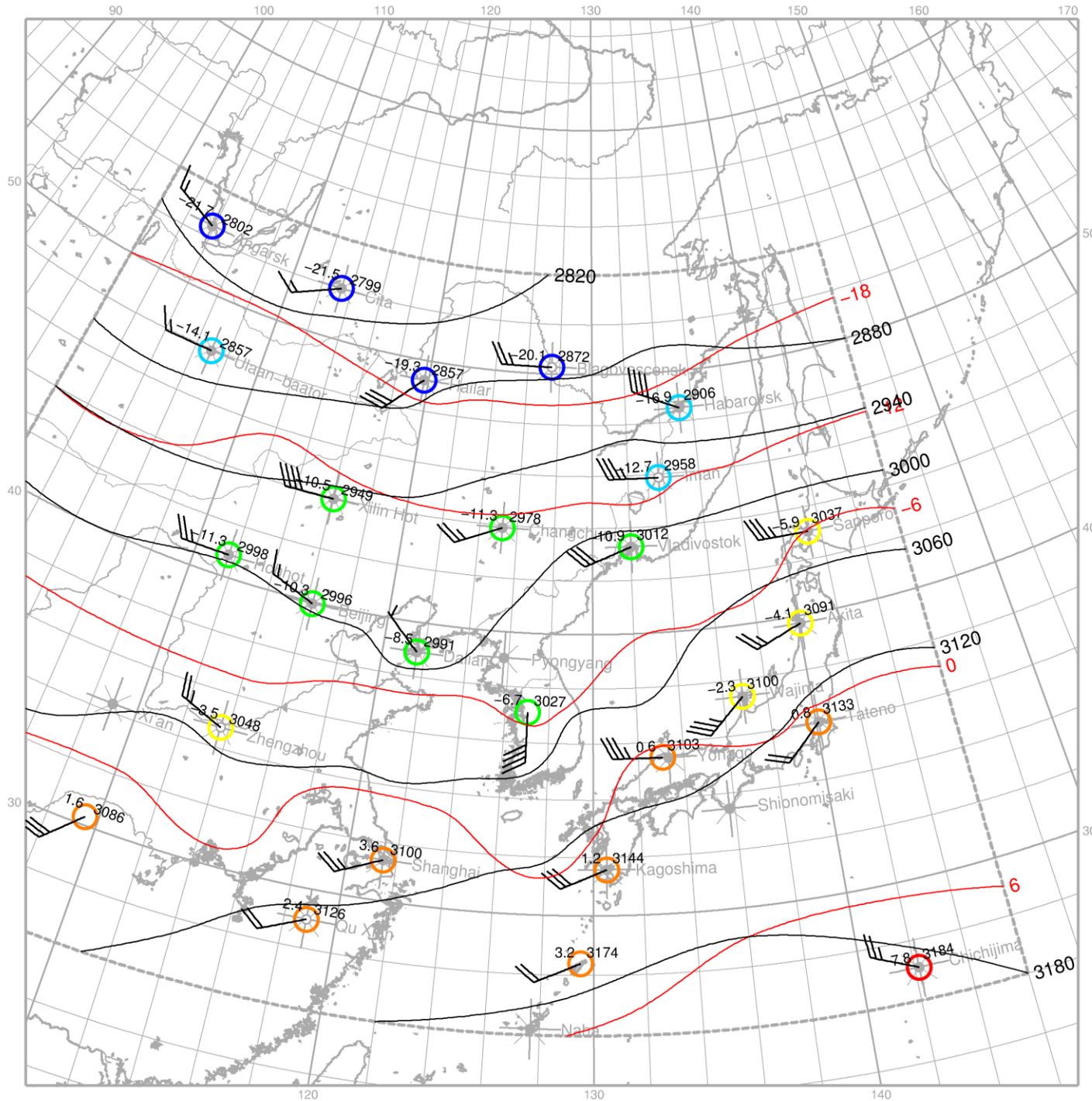
11/29と12/1では何が違いますか？

⇒次は高層天気図です。



Name:

⑥



Date: Nov. 28, 2014 11月28日

Time: 09:00 JST

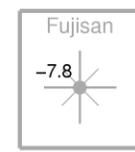
Level: 700 hPa

③高層天気図を描こう

高層天気図を描いて、12月1日のような結果になった原因を考えてみましょう。

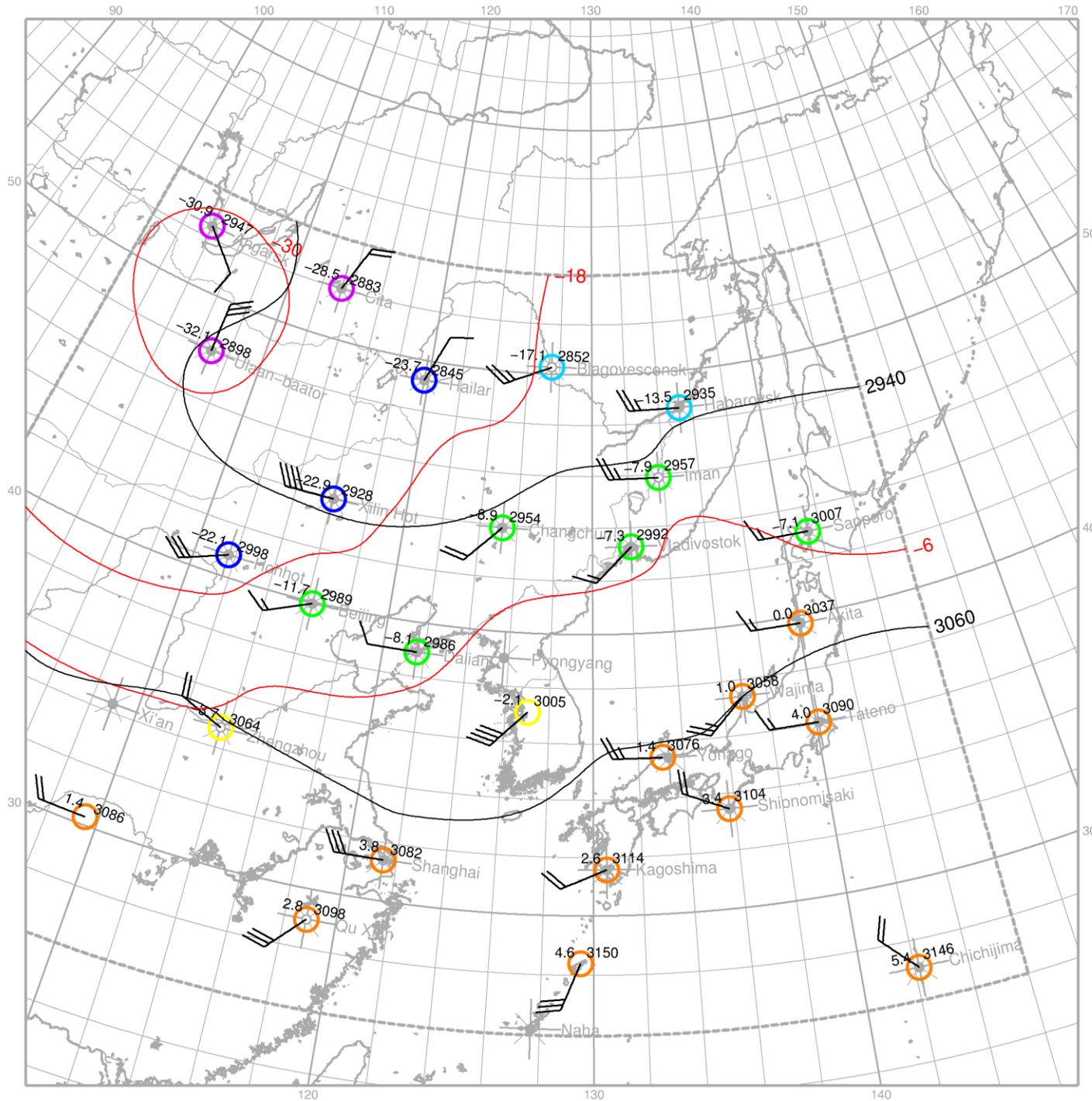
これは11月28日の700 hPa天気図です。

⇒この天気図をまねて、11月30日の700 hPa天気図を完成させよう。



Name:

7



Date: Nov. 30, 2014 11月30日

Time: 09:00 JST

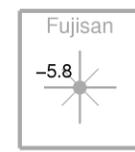
Level: 700 hPa

等高度線は60mごと、等温線は6℃ごとに引きます。足りない線を補って、天気図を完成させてください。

11月28日と30日では何が違うか考えてみましょう。

偏西風の吹き方はどうですか？

温度分布はどうなっていますか？



Name:

専門天気図①

11月28日 9時

←気圧の谷（日本の西）と尾根（東）を
マークしよう。

←低気圧Aの位置（日本の西）を
マークしよう。
中心気圧＝ hPa

√低温域（ $< -6^{\circ}\text{C}$ ）と高温域（ $> 12^{\circ}\text{C}$ ）を
マークしよう。

これらの天気図の最新版は、
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/tenkizu.html>
で入手できます。

上：AXFE578 上
中：ASAS
下：AXFE578 下

500hPa 高度・渦度 解析図（上）

太実線：高度(m)

破線および細実線：渦度($10^{\circ}/\text{s}$)

(網掛け域：渦度 > 0)

地上天気図（中）

850hPa 気温・風、700hPa 上昇流 解析図（下）

太実線：850hPa 気温($^{\circ}\text{C}$)

破線および細実線：700hPa 鉛直 p 速度(hPa/h)

(網掛け域：上昇流)

矢羽：850hPa 風向・風速(ノット)(短矢羽：5 ノット、

長矢羽：10 ノット、旗矢羽：50 ノット)

2014年11月28日9時(00UTC)

専門天気図②

11月29日 9時

←気圧の谷（日本付近）を
マークしよう。

←低気圧Aの位置（日本付近）を
マークしよう。
中心気圧＝ hPa

✓低温域（ $< -6^{\circ}\text{C}$ ）と高温域（ $> 12^{\circ}\text{C}$ ）を
マークしよう。

これらの天気図の最新版は、
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/tenkizu.html>
で入手できます。

上：FXFE502 右上
中：FXFE502 右下
下：FXFE5782 右下

500hPa 高度・渦度24時間予想図(上)

太実線：高度(m)

破線および細実線：渦度($10^{-5}/\text{s}$)

(網掛け域：渦度 > 0)

地上気圧・降水量・風24時間予想図(中)

実線：気圧(hPa)

破線：予想時刻前12時間降水量(mm)

矢羽：風向・風速(ノット)(短矢羽：5ノット、

長矢羽：10ノット、旗矢羽：50ノット)

850hPa 気温・風、700hPa 上昇流

24時間予想図(下)

太実線：850hPa 気温($^{\circ}\text{C}$)

破線および細実線：700hPa 鉛直p速度(hPa/h)

(網掛け域：上昇流)

矢羽：850hPa 風向・風速(ノット)(短矢羽：5ノット、

長矢羽：10ノット、旗矢羽：50ノット)

初期時刻 2014年11月28日9時 (00UTC)

専門天気図③

11月30日 9時

←気圧の谷（日本の西）と尾根（東）を
マークしよう。

←低気圧Bの位置（日本の西）を
マークしよう。

中心気圧＝ hPa

√低温域（ $< -6^{\circ}\text{C}$ ）と高温域（ $> 12^{\circ}\text{C}$ ）を
マークしよう。

これらの天気図の最新版は、
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/tenkizu.html>
で入手できます。

上：FXFE504 右上
中：FXFE504 右下
下：FXFE5784 右下

500hPa 高度・渦度48時間予想図(上)

太実線：高度(m)

破線および細実線：渦度($10^{-5}/\text{s}$)

(網掛け域：渦度 > 0)

地上気圧・降水量・風48時間予想図(中)

実線：気圧(hPa)

破線：予想時刻前12時間降水量(mm)

矢羽：風向・風速(ノット)(短矢羽：5ノット、

長矢羽：10ノット、旗矢羽：50ノット)

850hPa 気温・風、700hPa 上昇流

48時間予想図(下)

太実線：850hPa 気温($^{\circ}\text{C}$)

破線および細実線：700hPa 鉛直p速度(hPa/h)

(網掛け域：上昇流)

矢羽：850hPa 風向・風速(ノット)(短矢羽：5ノット、

長矢羽：10ノット、旗矢羽：50ノット)

初期時刻 2014年11月28日9時 (00UTC)

専門天気図④

12月 1日 9時

←気圧の谷（日本付近）を
マークしよう。

←低気圧Bの位置（日本付近）を
マークしよう。
中心気圧＝ hPa

✓低温域（ $< -6^{\circ}\text{C}$ ）と高温域（ $> 12^{\circ}\text{C}$ ）を
マークしよう。

これらの天気図の最新版は、
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/tenkizu.html>
で入手できます。

上：FXFE507 上
中：FXFE507 下
下：FXFE577 下

500hPa 高度・渦度72時間予想図(上)

太実線：高度(m)

破線および細実線：渦度($10^4/s$)

(網掛け域：渦度 > 0)

地上気圧・降水量・風72時間予想図(中)

実線：気圧(hPa)

破線：予想時刻前12時間降水量(mm)

矢羽：風向・風速(ノット)(短矢羽：5ノット、

長矢羽：10ノット、旗矢羽：50ノット)

850hPa 気温・風、700hPa 上昇流

72時間予想図(下)

太実線：850hPa 気温($^{\circ}\text{C}$)

破線および細実線：700hPa 鉛直p速度(hPa/h)

(網掛け域：上昇流)

矢羽：850hPa 風向・風速(ノット)(短矢羽：5ノット、

長矢羽：10ノット、旗矢羽：50ノット)

初期時刻 2014年11月28日9時 (00UTC)